目次《労務者渡世》　第二十一号

特集　仲仕

沖仲仕あれこれ話 ―― 2
八幡労働下宿 ―― 12
仲仕ぎらいの仲仕体験 ―― 18
ミナトの詩 ―― 33
アンコのストライキ ―― 36

ぶらり瓢箪 ―― 21
釜ヶ崎しんまい者雑感 ―― 44
釜ヶ崎ニュース ―― 46
読者の声 ―― 43
グラビア 荷役風景 ―― 25
読者文壇 ―― 29

聞き書きシリーズ
炊事婦 ―― 47

鬼の㈠ 蛇の五匹 悔知らずの日通か
鬼の㈡ 二度来る奴は 親の無い子か前科者
親は草葉の陰で泣く 泣きをくらす
港アンコは監獄ぐらし
いっそ監督さんの眼が光る

山口組ドキュメント 血と抗争 溝口 敦著 三一書房より

これは神戸港の歌であるが、大阪では〝鬼の上組 蛇の間口〟とか〝鬼の藤原 蛇の間口〟とか言われ、それぞれ苦い思いの荷役会社をあてたが、不思議と 蛇だけは間口であった。